

2025年11月13日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、「農業と協同の力で木曽の未来をささえます」の基本理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じた、豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

木曽農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品、共済仕組み、サービスの提供

(1) 金融商品

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズやライフステージに合った商品を選定したJAセレクトファンドを提供し、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- お客さまに對面金融商品販売の際は、適合性チェックシートを活用し、適切に販売しております。
- お客さまにより良い金融商品を提供するため、JAバンク全体として、共通フォーマットにて、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供し、その結果のフィードバックを受けております。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）＞

＜商品選定の考え方＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・当組合は、組合員・利用者皆さまの、生活や農業にかかわる様々なリスクに対して安心して備えられるよう、ニーズに適した共済仕組み・サービスを提供しております。
- ・来店予約サービスの導入により、待ち時間解消や各種お手続きをスムーズにご案内しております。
- ・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- ・令和7年4月から令和7年8月までにおける契約、支払、自動車事故対応などのJA共済満足度調査における総合満足度は98.8%の高評価をいただいております。
- ・当組合における共済事業につきましては、JA共済連と共同で事業運営をしており、組合員・利用者皆さまの最善の利益の実現のため、皆さまからのご意見ご要望、ご契約内容等に関する情報について相互に連携をしております。

I.取組状況

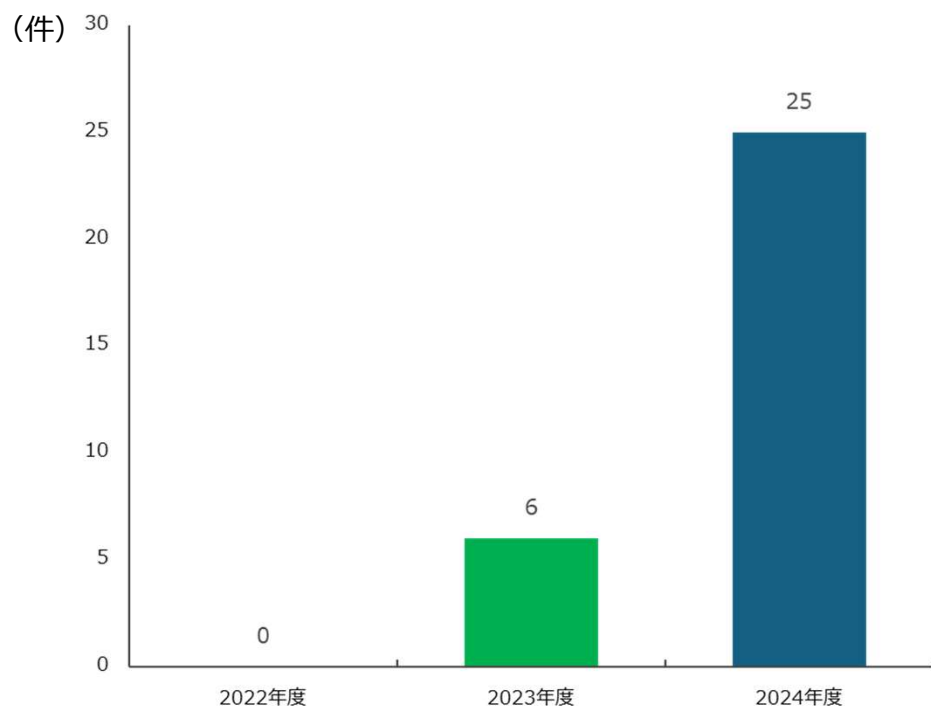
2 お客さま本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

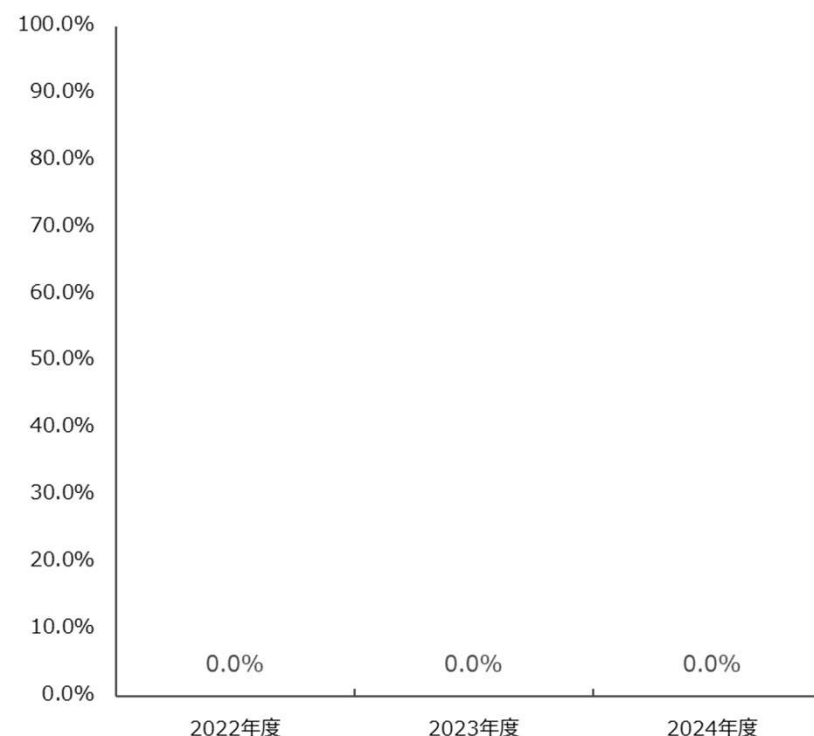
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～5)】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

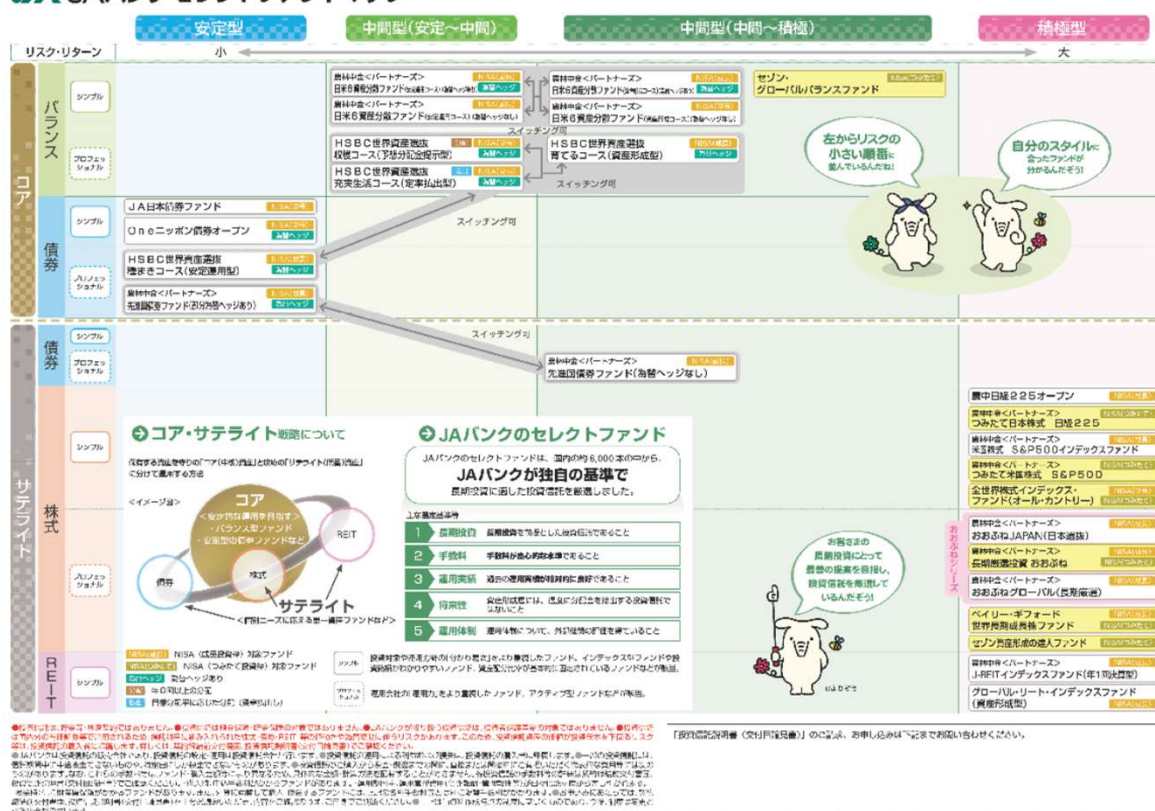
2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ丁寧かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンクセレクトファンドマップ



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・共済仕組み・サービスのご提案にあたっては、訪問時においてご加入されている保障内容、各種請求漏れがないかなどを説明してご確認いただけたかを「あんしんチェックご確認シート」を用いてご契約者さまに確認しております。
- ・「あんしんチェックご確認シート」から気になる保障やご心配されている事などのご契約者さま、ご家族さまのニーズに沿った最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ご意向、ニーズに即した共済仕組み・サービスがご案内できたと思われる場合は、重要事項（契約概要・注意喚起）につきまして、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を懇切丁寧を心がけてご説明しております。

② 情報提供

- ・訪問活動を通じて、組合員・利用者の皆様に起こりうる様々なリスクをご理解いただき各種公的保険制度等に基づいた情報提供を実施しております。
- ・情報提供にあたっては、動画視聴などにより、視覚からも伝わるように分かりやすい説明に努めております。

③ 契約締結時の対応

- ・ご契約に際しましては、組合員・利用者の皆さまのご意向ご要望を確認したうえで、保障内容をあんしんチェックシートなどを用いてご理解・ご納得いただけますよう丁寧に分かりやすい説明を実施しております。

I.取組状況

④ ご高齢者対応

・ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しましては、より丁寧で分かりやすいご説明を実施するとともに、ご家族を含めた中で十分にご納得、ご満足いただけますようご提案させていただくとともに、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど綿密な対応を行っております。なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま、被共済者さまに加え、ご親族の方にもご安心いただけるよう取組んでおります。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ご契約にかかる各種変更やご請求などの手続きに際しましては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすく丁寧なご説明を心がけるとともに、請求手続きの簡素化を推し進めるなどの利便性向上に向けても取組んでおります。
- ・3Q活動による日常の訪問では、あんしんチェックシートの活用による保障内容の説明に加えてあんしんチェック確認シートによる請求漏れがないかなどのきめ細かい確認を行うなど、組合員・利用者に寄り添ったアフターフォローを実施しております。
- ・ご契約に際しましては、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまからご負担いただく手数料等は一切ございません。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- お客さまの利益を保護することを目的として、基本方針である「利益相反管理方針」および利用者保護等管理規程に則り、「利益相反管理規則」を独自に定め、統括部署である企画管理部による、定期的な検証を行う等、適切な管理に努めております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

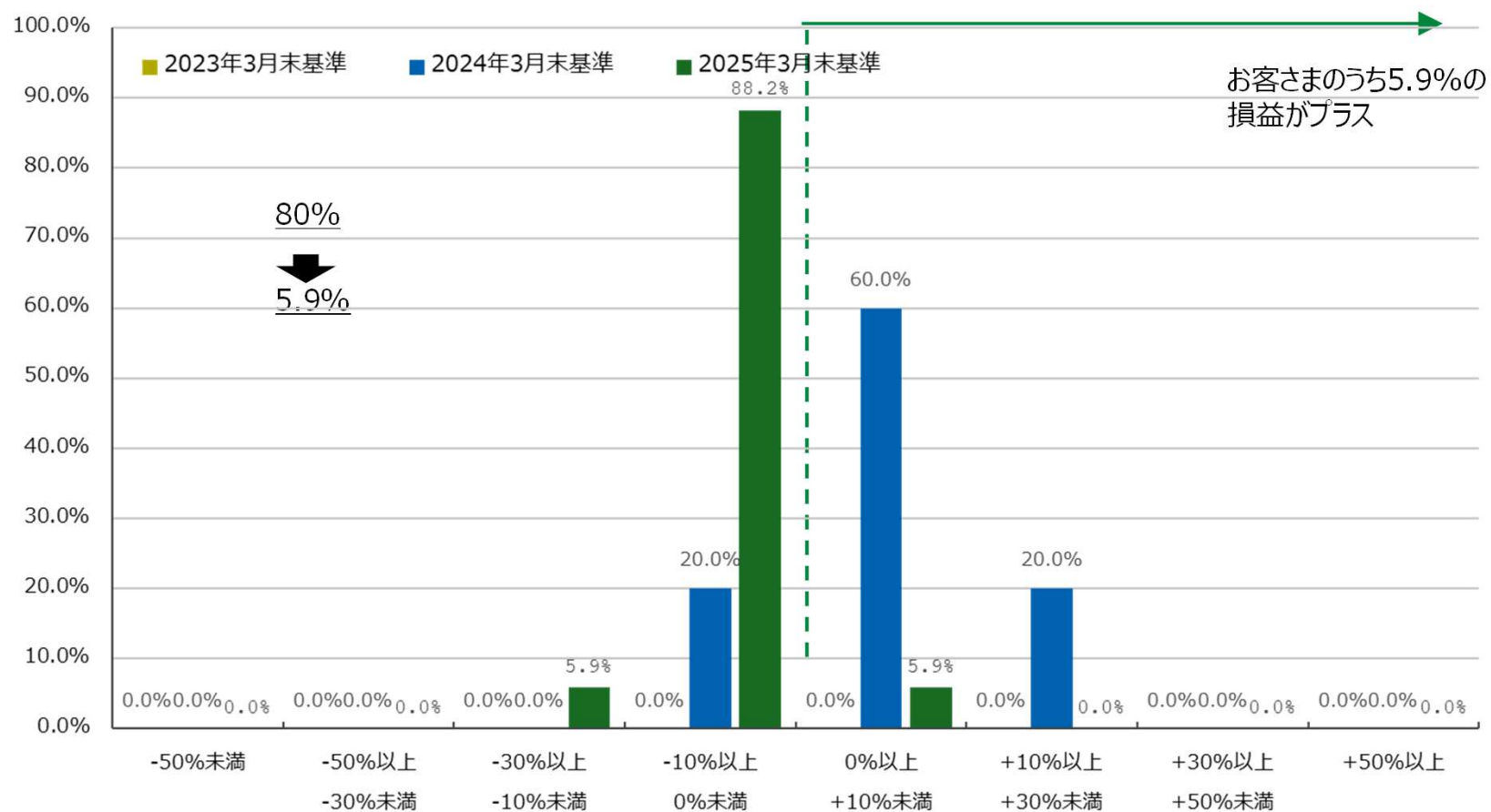
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 研修による知識向上や外務員資格等取得の推進を通じて、高度な専門性を有し誠実・公正な業務行う事ができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案して参りましたが、2025年3月末時点でマーケット不安定であったため、損益がプラスとなったお客さまは全体の5.9%でありました。

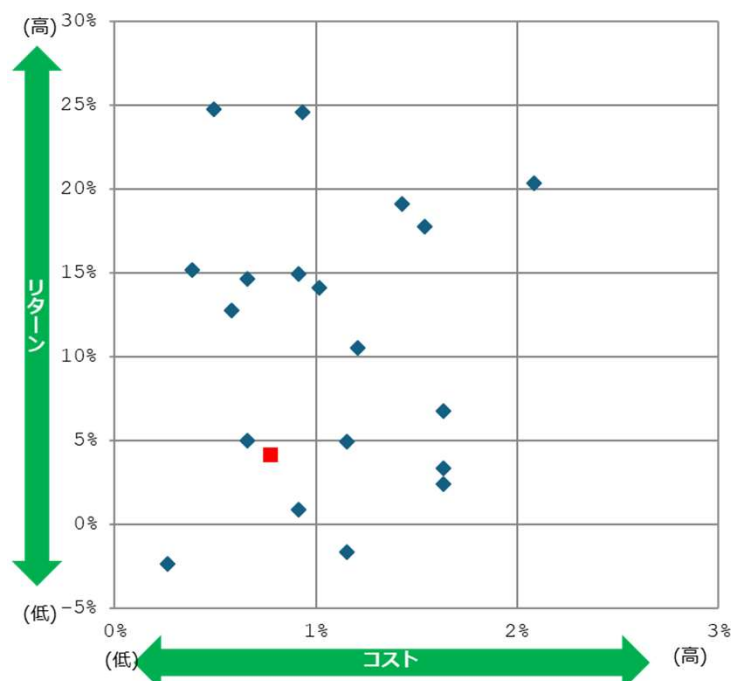


Ⅱ.比較可能な共通K P I

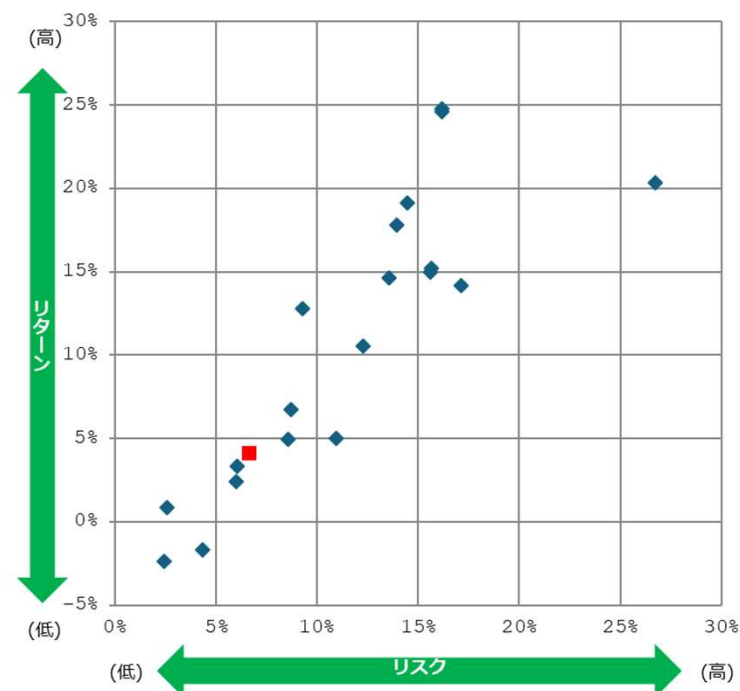
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.77%、平均リスク6.64%に対して、平均リターンは4.13%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



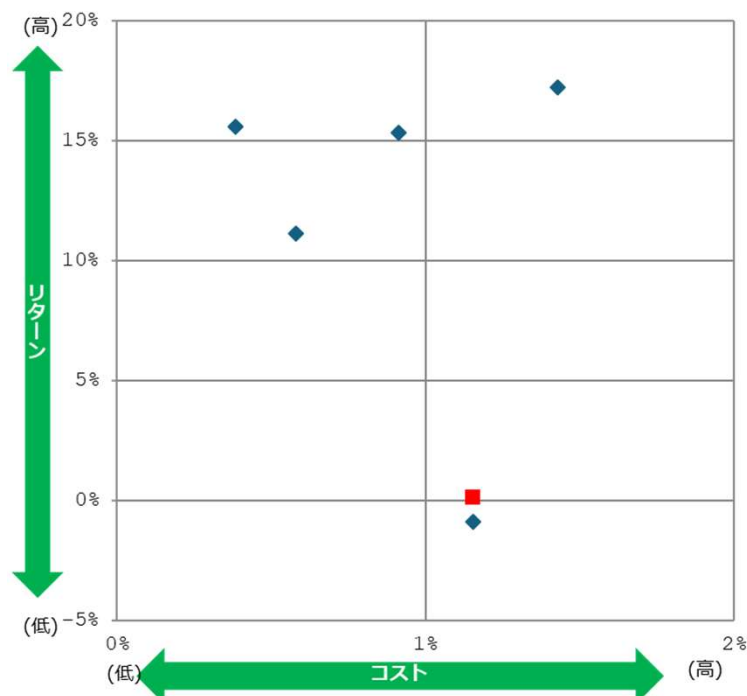
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

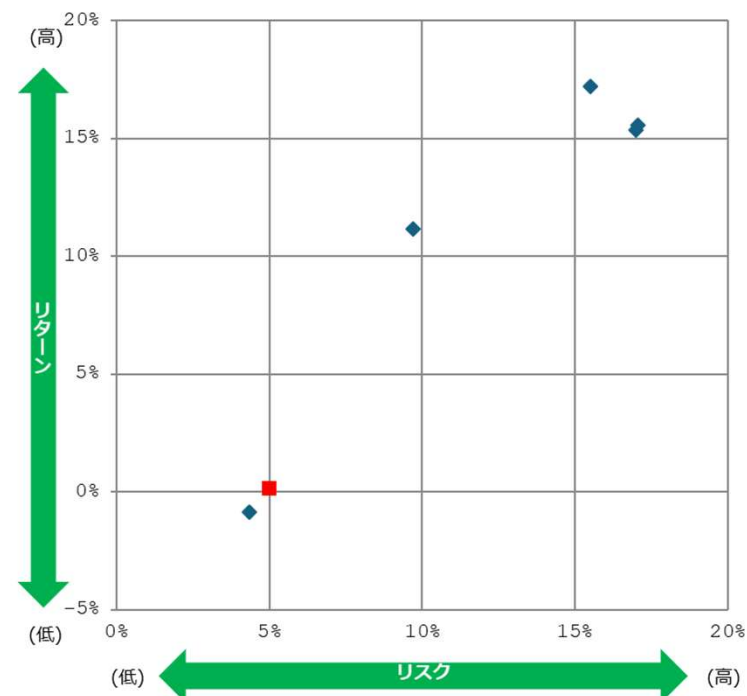
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.15%、平均リスク5.00%に対して、平均リターンは0.13%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0%、平均リスク0%に対して、平均リターンは0%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
2	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
6	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
8	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメント(株)	14.63%	13.58%	0.66%
9	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
10	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
12	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
13	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメント(株)	10.52%	12.27%	1.21%
14	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
15	J - R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
16	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
17	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
18	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
19	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどかり	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.13%	6.64%	0.77%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は19本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
4	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		0.13%	5.00%	1.15%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- ※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は0本となります。
- ※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。